



問題 13

●「法隆寺地域の仏教建造物群」に認められた遺産価値として、当てはまらないものはどれか。〔2点〕

- (13) : 1. 自然と調和した美を追求した、日本における宗教建築の最高傑作であること
2. 仏教伝来当時の建築様式を伝えるとともに、中国や朝鮮の影響を受けながらも独自に発展した日本の仏教文化の過程を示すこと
3. 現存する世界最古の木造建築であり、人類の創造的資質を示す傑作であること
4. 日本に仏教を取り入れた聖徳太子ゆかりの寺院であること

▶ 解説

(13) : 1 [正解率 : 54.2%]

「法隆寺地域の仏教建造物群」は、聖徳太子にゆかりの深い仏教建造物群です。世界遺産には法隆寺と法起寺の建造物48棟が登録されています。現存する木造建築としては世界最古とされる法隆寺金堂や五重塔をはじめ、この地域に残された建造物は、中国から伝わった仏教文化の影響のもとで、独自の日本文化が発展した過程を物語る貴重な史料とされています。

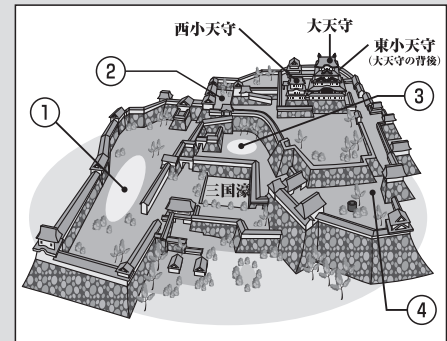
Column 法隆寺と若草伽藍

法隆寺の創建については諸説がありますが、近年有力となっているのが670年に焼失した若草伽藍を再建したという説です。法隆寺では現在も発掘調査が行われており、西院の近くからは若草伽藍のものとされる伽藍跡も発見されています。

問題 14

●「姫路城」は、現存する日本式城郭のなかでも最高傑作とされる建造物である。次の図のうち、本多忠政が息子の忠刻とその妻の千姫のために整備した「西の丸」があった場所はどこか。

〔1点〕(14) :



▶ 解説

(14) : 1 [正解率 : 54.6%]

兵庫県姫路市にある「姫路城」は、現存する日本式城郭の最高傑作とされる建造物です。姫路城の大天守は標高約46mの姫山の頂上部に築かれており、渡り櫓で3基の小天守と連結されています。白漆喰の総塗籠の姿から「白鷺城」とも呼ばれる姫路城ですが、外観の美しさだけでなく、螺旋を描くような巧妙な縄張りの上に配された迷路のような通路、鉄砲を討ちかける狭間を備えた壁など、戦時の城塞としても高い防衛力を誇っていました。

姫路城の起源は、南北朝時代の武将である赤松貞範が築いた砦とされています。戦国時代には毛利氏討伐のためにこの地に赴いた羽柴(豊臣)秀吉が赤松時代の砦に本格的な改修を施し、3重3階の天守をもつ近世城郭に仕上げました。関ヶ原の戦いののちには、新たに城主となった池田輝政が8年に及ぶ大改修を実施しており、現在見られるような壮大な天守群はこの時に完成したといわれています。また、池田氏の次に城主となった本多忠政の時代には、姫山の西のふもとに広がる平地に西の丸が整備され、忠政の息子である忠刻と、その妻千姫が住居としました。現在、西の丸跡には徳川家康の孫である千姫が婚儀の際に持参した化粧料(持参金)で建てたと伝えられる化粧櫓が残されています。

60

次の文章中の空欄(A)(B)(C)に当てはまる語句の組み合わせとして正しいものを選びなさい。〔3点〕

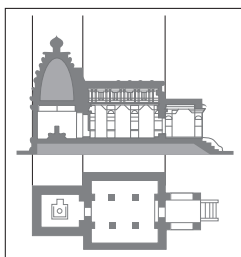
シリア北西部に残る「クラック・デ・シュヴァリエとカラット・サラーフ・アッディーン」は、十字軍時代の代表的な城塞である。クラック・デ・シュヴァリエは12世紀～13世紀、(A)が建設し本拠地とした強固なつくりで有名な城塞である。カラット・サラーフ・アッディーンは、12世紀、(B)が陥落させた。ビザンツ帝国、フランク王国、(C)の様式が混在した装飾に大きな特徴がある。

- (60) : 1. A 聖ヨハネ騎士団 B ティムール C マムルーク朝
 2. A テンプル騎士団 B ティムール C アイユーブ朝
 3. A 聖ヨハネ騎士団 B サラディン C アイユーブ朝
 4. A テンプル騎士団 B サラディン C マムルーク朝

61

次の文章中の空欄(A)(B)(C)に当てはまる語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。〔3点〕

ヒンドゥー教では、寺院は「神の家」とされる。神が宿するという像を安置するためのガルバグリハ(聖室)がある建物は(A)と呼ばれ、本堂の役割をもつ。その前面には(B)と呼ばれる拝堂が建てられ、塔上部には(C)と呼ばれる部分があるが、ヒンドゥー教寺院の北方型と南方型では形状が異なる。

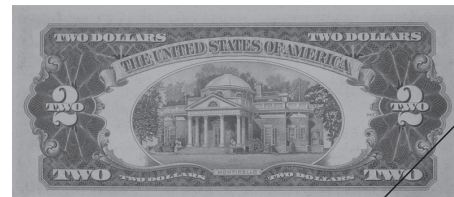


- (61) : 1. A マンダバ B ヴィマーナ C マスタカ
 2. A ヴィマーナ B マンダバ C シカラ
 3. A シカラ B マスタカ C マンダバ
 4. A マスタカ B シカラ C ヴィマーナ

62,63

次の文章中の空欄(62)(63)に当てはまる語を、それぞれ下の【語群】から選びなさい。〔各2点〕

「シャーロットヴィルのモンティチェロとヴァージニア大学」は、トマス・ジェファソン自ら設計した私邸と、彼が創設した大学の世界遺産である。イタリア語で「小さな丘」を意味するモンティチェロでは(62)風の古典様式とイギリスの別荘建築様式の調和を見ることができ



1953年発行2ドル紙幣の裏側に描かれたモンティチェロ

【語群】(62)(63) :

1. パルテノン
 2. パツラーディオ
 3. ロトンダ
 4. ギルドハウス
 5. パンテオン
 6. アンフィテートル

64

「シドニー・オペラハウス」は、斬新かつ調和のとれた美しさや都市彫刻としての完成度の高さから、20世紀建築のモニュメントとして世界中に認められ、2007年に世界遺産登録された。登録基準に関しては、ほかに「タージ・マハル」と「プレア・ビヒア寺院」にしか見られない特色をもつがそれは次のうちどれか。〔2点〕

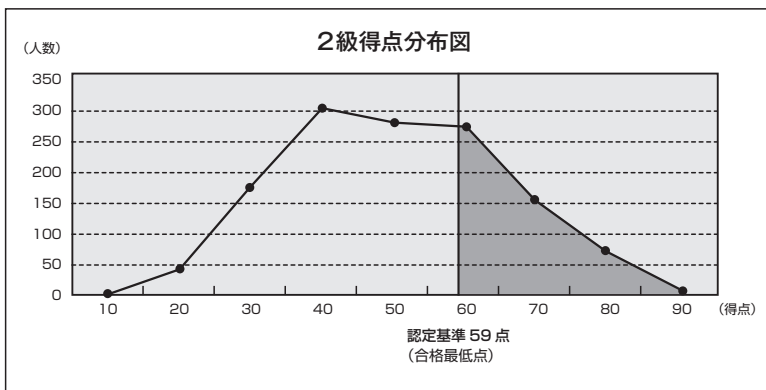
- (64) : 1. (i)だけが認められている。 2. (ii)だけが認められている。
 3. (iii)だけが認められている。 4. (iv)だけが認められている。

65

「アテネのアクロポリス」は都市国家アテネの中心地であり、芸術・哲学の発信地でもあった。とくにエレクトイオン神殿は、アクロポリスの中でもっとも複雑な平面構造をもっている。この神殿にある乙女の姿がかたどられた6本の柱の名称は、次のどれか。〔2点〕

- (65) : 1. カリアティード 2. ピナコテーク
 3. トリフォリウム 4. アプシス

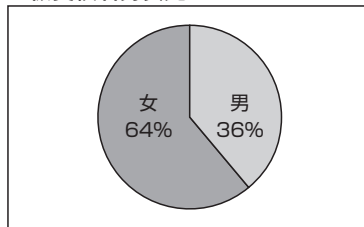
2010年7月度検定 [2級] 結果と受検者傾向



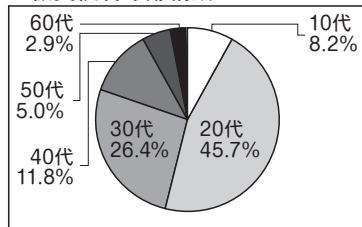
最高点	最低点	平均点	認定点
97.0	18.0	54.8	59.0

受検者	認定者
1309人	539人

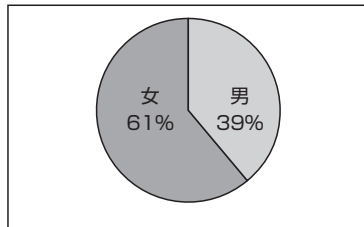
2級受検者男女比



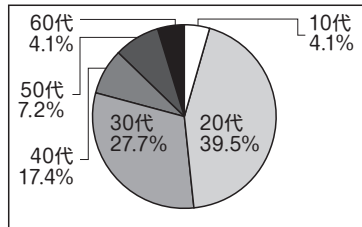
2級受検者年齢構成



2級認定者男女比



2級認定者年齢構成



2級問題の特徴

～歴史や地理など周辺領域の知識から世界遺産の価値を問う～

前回(2009年11月)同様、今回の2級では、基礎知識に加え「国際的視野をもつ」ことを重視し、歴史や地理、建築様式など周辺領域を通じて遺産価値を問う出題が中心となりました。図表や地図を選択する問題も多く出題されました。また前回はじめて登場した、会話文と手紙文という新しいスタイルの出題が、それぞれ1問ずつ出題されました。

正答率の高かった問題は、白川郷の合掌造り建築の特徴、厳島神社の歴史、ヨセミテ国立公園の特徴など、いずれもその遺産価値を代表する点を問うものでした。一方で正答率の低かった問題は、ケルト文化について、白神山地を構成する青森県の村名、ウィーン分離派に属する芸術家と作品の組み合わせなど、遺産価値の周辺領域に関するものでした。

2010年3月発行の『世界遺産検定公式ガイド300』をテキストとする最初の検定となりましたが、この書籍から全得点の9割超が出題されています。また昨年までのテキスト『世界遺産検定公式基礎ガイド2009年版』で学習した場合でも、ここから約7割の解答を導き出すことができました。

認定基準

～認定基準59点は前回と同じ。難易度に変化なし～

本来の2級の認定基準である正答率6割(60点)以上の合格者が、全体の40%にわずかに達しませんでした。そのため上位40%の受検者が認定となるよう基準調整が行われ、1点低い59点が認定基準となりました。前回の2級も認定基準は59点だったため、難易度は前回と同じだったといえます。

受検者・認定者の傾向

～女性、20～30代の割合が高い。40代の認定率が高い～

2級の受検者は、性別では女性が6割を超え、年齢別では20代と30代で7割を超えます。これは海外旅行への高い関心をもつ層と重なります。また検定受検を学業や就職活動にプラスにつなげようとする意欲とも関連しているといえるでしょう。性別や年齢別の構成は、受検者と認定者では大きな違いはありません。ただ、10代と20代では受検者の割合に比べて認定者の割合が若干下がったのに対し、30代以上で、特に40代で上がっています。